



第57回

日本母性衛生学会総会・学術集会
寄付金募集要項

会期：2016年10月14日（金）・15日（土）の2日間

会場：品川プリンスホテル

会長：正岡 直樹

（東京女子医科大学八千代医療センター 母体胎児科・婦人科 教授）

第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会の開催にあたり

ご挨拶

謹啓

清秋の候、貴社、貴院ならびに貴団体におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこのたび、平成 28 年 10 月 14 日（金）・15 日（土）の両日、東京において第 57 回日本母性衛生学会総会ならびに学術講演会を開催する運びとなりました。本会はすべての女性の健康を守り、母性を健全に発達させ、母性機能を円滑に遂行させるために、母性衛生に関する研究、知識の普及、関係事業の発展を図り、ひいては人類の健康・福祉に寄与することを目的に昭和 34 年に設立され、さらに平成 25 年 4 月からは公益社団法人として、社会により一層貢献すべく多彩な活動を展開してきております。本学術講演会は例年全国の医師、助産師、看護師、保健師らが約 2,500 名参加し、活発な議論の場となっております。東京での開催は第 45 回以来、12 年ぶりとなり、多くの学会員の参加が予想されます。一方、学術集会は本来、堅実でかつ華美を排した運営を心掛け、学会参加費でその運営を賄うべきであります。近年の社会情勢を鑑みる時、著しい困難が予想されます。つきましては本学術集会の趣旨にご賛同いただき、何卒ご支援、ご協力を賜りたくここにお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社、貴院ならびに貴団体の益々のご発展とご繁栄をお祈り申し上げます。

謹白

平成 27 年 10 月吉日

第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会 会長
(東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科 教授)
正岡 直樹

公益社団法人日本母性衛生学会 理事長
池ノ上 克

第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会 開催概要

1. 会議の名称 第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会
2. 会長 第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会
正岡 直樹
(東京女子医科大学八千代医療センター 母体胎児科・婦人科 教授)
3. 主催 第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会
4. 会期 2016 年 10 月 14 日 (金)、10 月 15 日 (土) の 2 日間
5. 会場 品川プリンスホテル
〒108-8611 東京都港区高輪 4-10-30
TEL: 03-3440-1111
6. テーマ 母性衛生に携わる喜び～自負と矜持～
7. 開催趣旨と目的 本学会は昭和 34 年、当時の劣悪な母子保健指標の改善を図るべく、産婦人科、小児科、歯科等各診療科の医師、保健師・助産師・看護師はじめ、関連する各職種の人々が共に学習、研究ができる場を設けるために創立されました。時を経て、時代と母性を取り巻く環境は著しく変化しましたが、母性衛生に関する研究、知識の普及、関係事業の発展を図り、人類の福祉に寄与するという目標が変わることはありません。すべての女性の健康を守り、母性の健全な発現のために貢献し、母性の機能を円滑に発揮できるように、学会を運営していきたいと考えております。
8. 参加予定人数 2,500 名
9. 主要プログラム (予定)

開催日	午前	午後
10月14日(金)	会長講演 シンポジウム 教育講演 一般口演・ポスター発表	総会 招請講演 市民公開講座 ランチョンセミナー 一般口演・ポスター発表
10月15日(土)	教育講演 シンポジウム 一般口演・ポスター発表	市民公開講座 シンポジウム ランチョンセミナー 一般口演・ポスター発表

11. 学会事務局

東京女子医科大学八千代医療センター 母体胎児科・婦人科

住所：〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田 477-96

TEL：047-450-6000 FAX：047-458-7136

E-mail：bosei-57-2016.cb@twmu.ac.jp

12. 運営事務局

第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会運営事務局

株式会社日本旅行 ECP 営業部

住所：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19

虎ノ門マリンスビル 11 階

TEL：03-5402-6401 FAX：03-3437-3944

E-mail：jsmh_2016@nta.co.jp

第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会

予算計画書

(2015 年 10 月 1 日現在)

(単位：円)

1: 収入

科目	予算	単価	人数・募集数	摘要
1 参加費	¥21,100,000	¥2,000 ¥10,000 ¥5,000 ¥12,000 ¥15,000	450 650 100 600 400	【事前】学生 【事前】一般会員 【当日】学生 【当日】一般会員 非会員
2 懇親会費	¥750,000	¥15,000	50	
3 寄付金	¥5,000,000			
4 展示会出展料	¥8,640,000	¥216,000	40	基礎小間
5 プログラム広告	¥1,620,000	¥216,000 ¥108,000 ¥108,000 ¥75,600 ¥43,200	1 1 1 10 10	表4 表2 表3 後付1P 後付1/2P
6 共催セミナー	¥16,848,000	¥1,728,000 ¥1,512,000 ¥1,296,000	2 2 8	ランチョンセミナーA ランチョンセミナーB ランチョンセミナーC
7 補助金	¥3,000,000			学会補助
収入合計	¥56,958,000			

2: 支出

科目	予算	小計	摘要
1 企画制作費	¥16,621,000	¥1,130,000 ¥7,500,000 ¥2,352,500 ¥5,638,500	広報費 機材・備品・会場関係費 人件費 業務委託費
2 会場費	¥23,000,000		品川プリンスホテル
3 懇親会費	¥3,000,000		会場費、飲食費
4 行事記念品代	¥250,000		座長記念品等
5 旅費交通費	¥3,000,000		招待旅費、関係者宿泊費等
6 報酬・謝礼	¥3,000,000		講演者謝金
7 会議費	¥1,000,000		会議会場費・関係者弁当
8 事務消耗品費	¥700,000		大会印、文具、ネームカード等
9 通信運搬費	¥500,000		ポスター・趣意書等送付
10 印刷費	¥3,000,000		ポスター・チラシ・趣意書・手引き等 礼状
11 雑費その他支出	¥2,887,000		
支出合計	¥56,958,000		

第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会 寄付募集要項

1. 寄付金の使途 第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会の準備及び開催経費

2. 寄付目標金額 5,000,000 円

3. 寄付・協賛を必要とする理由

本学会では、参加者 2,500 名が予定されており、各種の準備・運営に要する経費として、総額約 5500 万円が必要と推算されます。その内訳は会場費、特別講師料、通信費、学会業務委託費等です。このような学会経費は本来ならば参加費、主催学会の補助金などの自己資金で賄うべきものですが、主催学会の補助についても財政上の制約があるため、自己資金だけでは経費不足が見込まれます。時節柄、経費の節約を前提とした学会運営を行うべく努力しておりますが、円滑な運営の為には諸院、諸団体ならびに諸企業からのご支援に頼らざるを得ないのが現状です。現在の社会状況を振り返りますと大変ご無理なお願いであることも承知しておりますが、何卒本学会の開催へ格別のご援助をお願い申し上げる次第です。

4. 募集締め切り 平成 28 年 10 月 15 日（土）

5. 申込方法 別紙の申込書にご記入の上、下記学会事務局まで郵送またはファックスでお送りください。

【学会事務局】

東京女子医科大学八千代医療センター 母体胎児科・婦人科

住所：〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田 477-96

TEL：047-450-6000 FAX：047-458-7136

E-mail：bosei-57-2016.cb@twmu.ac.jp

6. 寄付金振込先 [金融機関名] 千葉銀行 大和田支店

[店番] 035

[口座番号] (普) 3423384

[口座名義]

第 57 回 日本母性衛生学会 会長 正岡 直樹

(ダイゴシ ユナカイ ニホンボセイエイカガクカイ カイチョウ マサカ ナリ)

第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会 学会事務局宛 FAX : 047-458-7136

第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会
寄付申込書

第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会会長 正岡 直樹 殿

金 _____ 円

趣旨に賛同し上記金額を「第 57 回日本母性衛生学会総会・学術集会」への寄付を申し込みます。

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

貴社名

所在地 〒 _____

部署名 _____

ご担当者名 _____

TEL : _____

FAX : _____

E-mail : _____

領収書お宛名 _____

入金予定日

____ 年 ____ 月 ____ 日